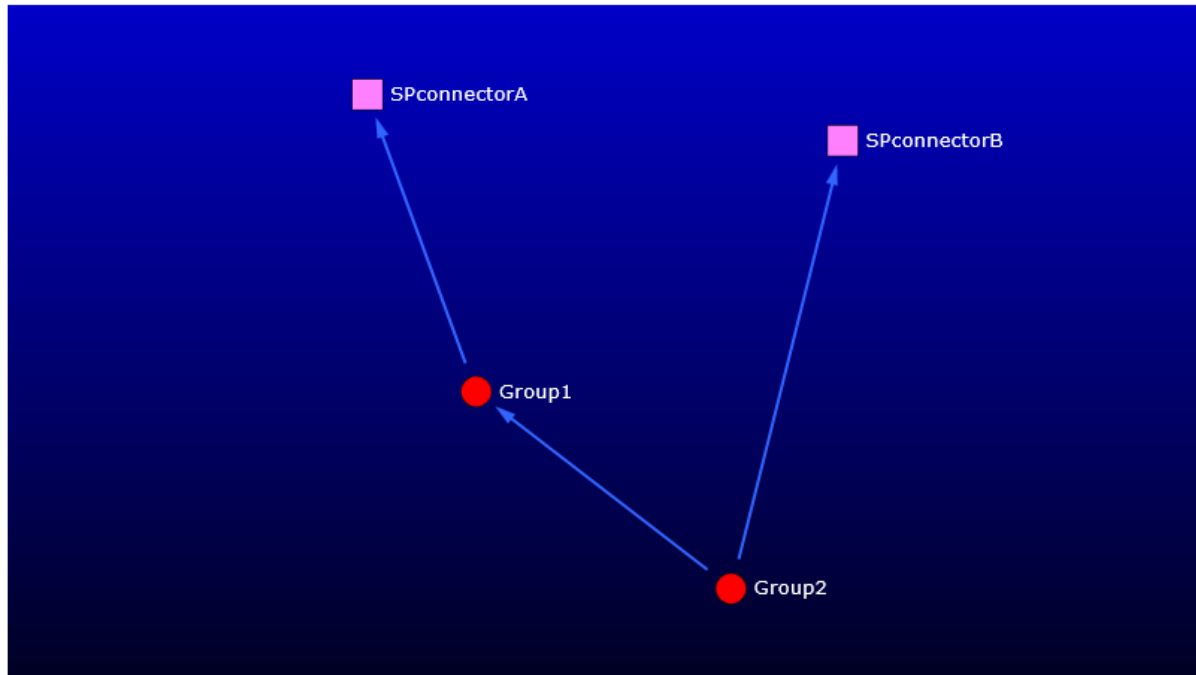


グループと接続する（上位下位の関係）

グループ同士を接続させ、2階層までの上位、下位の関係性を持たせることができます。SPにおいては、下位グループの全てのメンバーはあたかも上位グループのメンバーであるかのようにふるまうことができます。

例えば、下記の図のような関係性を作ることができます。



- Group2 は、Group1 の下位グループとなることで、SPconnectorA を利用可能となる。（SPコネクタに接続申請を出すか、グループに接続申請を出すかで場所が変わる。）
 - SPconnectorA に渡される情報（グループID）は、上位グループのGroup1のみになります。つまり直接接続されていないGroup2のメンバーであるかどうかという情報はSPconnectorAには渡されません。
- Group2 は、直接 SPconnectorB と接続し、SPconnectorB を利用することもできる。

なお、グループに階層構造を持たせるには、両方のグループのグループの独立設定にて「独立させません」を選んでいる必要があります。

ここでは、グループ同士の接続を説明します。SPコネクタとの接続は[こちら](#)をご確認ください。



グループ間を伝播する情報はメンバーかどうかだけです。上の例でいうとSPconnectorAに渡されるGroup1の管理者かどうかという情報はGroup1に設定されている通りに渡され、Group2の管理者かどうかとは無関係です。

下記のページにて手順を説明します。

[グループ管理者に戻る](#)
[Homeに戻る](#)